

“開かれた議会”へ 積極的な 広報活動を展開

魅力あるふるさとづくりには、県民の皆様さまざまな県政の課題についてより関心を持っていただくことが不可欠です。その第一歩として県議会の仕組みや活動などを一人でも多くの方に知っていただくため、私たち県議会では積極的な広報活動に力を注いでいます。

その中心となるのが、平成22年6月施行の「石川県議会基本条例」に基づき設置した広報広聴会議です。現在、同会議のメンバーの県議会議員を中心に、議会改革の一環として多くの方に親しまれる“開かれた議会”を目指し、知恵を絞っています。

例えば、そのひとつが県議会の案内パンフレットや本紙「県議会だより」など(写真)で、県議会では、さまざまな工夫を凝らしています。詳細は、ぜひ中面をご覧ください。



第2号

県議会の活動を伝える広報紙

県議会 だより

いしかわ

今号のトピックス

- ・議会改革進行中
- ・傍聴者・見学者に
お話を聞きました!



かきつばた
杜若像

石川県の代表的な伝統芸能のひとつである能の「杜若」の舞い姿を表したものであり、昭和28年、広坂旧県庁舎の議場に設置され、以来、半世紀にわたり論戦を見守ってきました。現在は、議会庁舎1Fのエントランスホールに飾られています。



よりよい石川県に向け

議会改革 進行中



社会見学などで訪れた小学生にパンフレットを渡し、県議会の役割や仕組みを伝えています

今年6月、 海外向けパンフレットを発行

県議会では、議案が可決されるまでの流れや各種委員会の役割などを分かりやすく紹介するため、傍聴者・見学者向けに、石川県議会独自の案内パンフレットを配布しています。しかも、案内パンフレットは1種類だけではありません。国際化に対応する海外向け、未来の石川を担う子ども向けも発行しています。

今年6月に完成した海外向けパンフレットでは、英語・中国語・韓国語の3カ国語に対応。石川県を訪れる外国の方や海外訪問時に県議会を紹介するだけでなく、石川県の概要や県内を代表する観光スポットの写真なども豊富に掲載しています。海外の皆さんに石川の魅力を発信していきたいと考えています。

一方、子ども向けパンフレットはイラストを多く活用した親しみやすいデザインが特徴です。文章についても難

しい専門用語は使わず、なるべく平易な言葉遣いを心がけています。

県内全世帯に 「県議会だより」を配布

今年7月に創刊した本紙「県議会だより」も、県政への関心を高めるための重要な広報ツールです。現在、県広報誌「ほっと石川」にはさみ込み、県内全世帯に配布しており、今後、皆様が求める県議会の情報をどんどん発信していきたいと考えています。

県議会ホームページ (<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>) では、これらの各種案内パンフレットや県議会だよりバックナンバーのPDF版をアップしています。加えて、県議会議中継や会議録なども見ることができます。メールで県議会に対するご意見・ご提言なども募集していますので、ぜひ、皆さんの声を聞かせてください。

海外や子ども向けパンフレットを制作 県議会の取り組みをPR

案内パンフレットは3種類



一般向け

概要だけでなく、傍聴や請願・陳情方法なども記載しています。



子ども向け

県議会の仕事内容を分かりやすくまとめています。



海外向け

金沢城を表紙に使うなど、海外に石川の特徴を伝えています。



傍聴者・見学者に お話を聞きました！

県議会の本会議や委員会は誰でも傍聴・見学することができ、政策がどのように決定されているのかを知ることができます。実際に傍聴・見学に訪れた方々に感想や意見を伺いました。

40代
金沢市
男性

20代や30代の若者たちに対して県政への関心を高める取り組みをもっと進めてほしいですね。もっと多くの県民が傍聴に訪れることができるよう、本会議などを土曜・日曜に開催することも検討してください。

40代
白山市
女性

傍聴に訪れたのは初めてです。張り詰めた議場の緊張感が伝わってきて、自分もドキドキしてしまいました。日常生活の中で県政を意識することは少ないですが、真剣な議論を見ると、皆さんがとても頼もしく感じます。

40代
能美市
女性

全国でいじめが大きな問題となっており、子どもを持つ親として教育に関心があって傍聴に来ました。しっかりと話し合われていたのでも少し安心しましたね。将来を担う子どもたちをもっと傍聴してほしいと思います。

40代
加賀市
男性

新聞に掲載されている情報では「物足りない」と感じていました。実際に傍聴してみると、細かな部分まで議論されていますね。金沢まで来るのは大変なので、年に一度は能登と加賀地区でも議会を開催してほしいです。

40代
能美市
男性

県議会議員の皆さんが、地域を背負って議論している姿を見ると心強いです。地域経済の活性化に県政が果たす役割は大きいと言えます。傍聴していると、分からない議会用語が出てくるので、解説がほしいですね。



あわのほ 羽咋市立粟ノ保小学校 松山 智明 校長先生

秋のバス旅行のコースに県議会庁舎の見学を盛り込みました。私たちの生活を豊かにするため、真剣に話し合っている場所を、子どもたちにぜひ体験してほしいと考えたからです。文化や歴史を学ぶことと同様に、これも大切なふるさと教育だと思います。

吉田 利紅くん 米谷 野愛さん (小学4年生)

今日、見学に訪れるまで、県議会ではどんなお仕事をしているのか知りませんでした。でも、職員の方のお話を聞き、石川県に関わる大切なことをいろいろと決める大切な場所なのだと分かりました。

気軽に見学に
来てくださいね♪



次回は
12月に定例会を
開催

県議会へ傍聴に来ませんか？

本会議や委員会は、誰でも傍聴できます。傍聴は、本会議や委員会の当日に議会庁舎1階で受け付けています。また、県議会ホームページでは、議会の様子の中継しています。

詳細はホームページをご覧ください。

石川県議会

検索

お車の方はコチラをご利用ください



委員会 活動REPORT

石川県議会には、本会議に提出された議案を専門的に調査、審査する常任委員会と、必要に応じて設置される特別委員会、議会の運営方針などを協議する議会運営委員会があります。今号からシリーズでそれぞれの委員会の役割や活動内容をレポートします。

総務企画委員会 (常任委員会)



県民生活の向上を目指し、知恵を絞っています

厚生文教委員会 (常任委員会)



教育の課題などに対して活発に意見を交わします

地域防災計画を見直し 安全・安心な県づくりを

総務企画委員会では、県民生活に直結した課題を幅広く議論しています。例えば、県予算の編成や県税収入の確保、行財政改革、危機管理体制の構築や防災安全対策、消防力の充実強化、北陸新幹線の早期実現と並行在来線の対策、小松・能登両空港の利活用、消費者施策の推進や芸術文化の振興、男女共同参画社会の実現などが挙げられます。

中でも、重要課題として取り組んでいるのが東日本大震災や福島第一原発事故を踏まえた地域防災計画の見直しです。今年8月には北海道、青森県の両議会を訪れ、原子力発電所で事故が発生した場合の避難対策などについて意見を交わすなど、安全・安心な県づくりの推進に努めています。



北海道議会を訪れ、原子力防災対策の取り組み状況を話し合いました

いじめ・不登校対策の 強化に取り組む

県民の健康と福祉、教育に関わる石川県の施策について議論を尽くすのが、厚生文教委員会です。具体的なテーマとしては、社会福祉の促進、医療の充実、学校教育、生涯学習とスポーツの振興などが挙げられます。

現在、特に力を入れているのが、全国的にもクローズアップされているいじめ問題と不登校です。実際に教育現場に訪れて現状を聞き取り調査するなど、対策の強化に取り組んでいます。また、子どもや高齢者、障害のある人に限らず、すべての県民が生き生きと安心して暮らせる地域社会を形づくるため、子育て環境や医療体制の充実など、あらゆる角度から改善点を検討しています。



車いすが利用できるエスカレーターを委員が試乗しました

県議会の活動を伝える広報紙

県議会 第2号 だより

編集・発行 / 石川県議会 (年4回発行)
平成24年11月10日発行

●お問い合わせ

石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索

県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会に教えてください。



メールアドレス

gikai@pref.ishikawa.lg.jp